

トマト及びミニトマト(ハウス) 9月の管理について

この時期に定植する(加温越冬型の)トマト, ミニトマトは長い期間収穫しますので, 活着の良否も, その後の生育や収量に大きく影響を及ぼします。高温対策を実施して, 高温による根傷みに気をつけましょう。

高温対策例

1)遮光資材の利用

日光の通過を抑える資材で昇温を抑制しましょう。
(使用する資材の遮光率は50%程度まで。強い遮光は禁物です。)

2)マルチによる地温の抑制

稲ワラを敷くと, 裸地と比較して地温が5度以上低く抑えられます。
タイベック製の資材は, 地温を下げる効果がすぐれています。

3)換気の徹底

換気扇・循環扇を利用して, ハウス内の空気を攪拌して高温空気の滞留を防止しましょう。

4)細霧冷房

霧状に水を散布することで温度を下げます。
細霧冷房する場合には換気扇・循環扇を併用すると効果が高くなります。

5)散水による揮発熱利用

通路に薄く散水することで, 若干の温度が下がります。

1)~5)のできるのところから実行し, できるだけハウス内温度を下げて, トマト, ミニトマトの樹作りを行いましょう。

そして黄化葉巻病の発生予防のため, コナジラミ類の防除は初期から必ず行いましょう。

また, 土壌水分が高い状態で耕耘したほ場は, 土くれが大きくなりがちです。そうすると, 定植後の活着がしにくい状態になります。ほ場の水分状態に注意しましょう。